



東京都立多摩桜の丘学園
生活指導部より
令和7年9月19日
第5号 校長 西田良児

■ 9月は防災月間です。台風や地震など大きな災害に備え、知識を深めるために制定されました。高等部では起震車体験を予定していましたが、台風のため水消火器体験を行いました。まずは周囲に火災を知らせることの大切さを学び、次に基本的な消火器の取り扱いを体験しました。また、保護者を対象に安否確認の手段として「web171」、「災害伝言ダイヤル」の体験を行いました。大きな災害時には、電話などが通じにくい状況が発生します。このような機会を通して、学校や家族間の連絡方法などの再確認をお願いします。今後ともご協力をよろしくお願いします。

水消火器体験と災害伝言ダイヤル体験9月5日

◆高等部生徒が水消火器体験を体験しました

多摩消防署の御協力を得て、生徒たちは実際に水の入った消火器を使い、火に見立てた的をめがけて噴射する体験をしました。はじめは緊張している様子もありましたが、順番が来るとしっかりと消火器を持ち、真剣な表情で取り組む姿が見られました。

いざという時に自分の身を守るだけでなく、消火器の使い方を知っておくことはとても大切です。今回の体験を通して、防災意識を少しずつ高めていければと考えています。

姿勢を低く
火をめがけています



姿勢を低く
火を狙って噴射

◆災害伝言ダイヤル体験をしました。

本校では防災週間の取組の一環として、「災害用伝言ダイヤル（171）」および「web171」の体験を行いました。

今回は、保護者の皆様や児童生徒に御協力いただき、実際に学校の番号を使って伝言を確認する体験をしていただきました。

御家庭でも、災害時の連絡手段や避難先についてぜひ話し合っていたいただければと思います。

福祉避難所・帰宅支援所設営研修 7月24日

◆福祉避難所と帰宅支援所の開設をしました

本校は、多摩市と協定している福祉避難所です。災害時や不測の事態に備えて、教職員向けの研修として福祉避難所・帰宅支援所の設営研修を行いました。福祉避難所設営、帰宅支援所開設、食料準備、救護の4つの班に分かれて、それぞれの準備や開設に必要な物資を運び出して実際に設営することで非常時に迅速に対応できるよう、研修に取り組みました。福祉避難所の設営では、校内の多目的ホールや普通教室に、避難者を受け入れるためにポップアップテントなどで間仕切りを作り、避難者が安心して過ごせる環境を整えました。帰宅支援所は玄関前に設営し、帰宅困難者の一時的な休息所としての活用などを目的としています。救護班では福祉避難所として、医療的ケアを必要としている方の受け入れを想定した設営の研修を行いました。災害時に避難所生活が長期にわたる可能性もあるため、避難者に提供するための非常食の準備も実際に取り組みました。研修には、地域の関係機関の職員の方や、本校のPTAの方にも見学していただき、ありがとうございました。



校内の福祉避難所開設



玄関前の帰宅支援所開設



非常用電源の確認（救護）



非常食の準備

普通救命技能講習会 7月25日

◆普通救命技能講習会をしました

今年度は7名の教職員が講習会を受講しました。本校では、全体の45%の教職員が救命技能認定証を取得しています。生徒が安全に学校生活を過ごせるように努めてまいります。



不審者対応訓練 8月27日

◆不審者対応訓練を行いました

本年度は多摩中央警察署のスクールサポーターの方に不審者役をしていただき、不審者対応訓練を行いました。本校では、現場と見学できない教職員のために中継をつなぎ、全校の教職員が訓練を見学できるようにしました。また、その後にはスクールサポーターの方々にご指導いただき、「さすまた研修」を行いました。凶器を持った相手にどのように構えるのかなど実際に体験し、研修しました。教職員一同、児童・生徒が安心して過ごせるように、万が一に備えて危機管理を徹底してまいります。

